



野菜栽培について学ぶ

女性部藤里支部の5回目の冬期講座が、3月20日にゆとりあ藤里で開かれ、部員ら約70人が参加しました。最後となる今回の講座には、元能代市農業技術センター所長の佐藤亨さんを招き「今農業がおもしろい～自己流の野菜づくり～」と題した講演を行いました。

講演では、佐藤さんが実際に栽培し、おすすめする野菜の紹介や、種まきや肥料のまき方のコツなどを説明しました。その中で佐藤さんは「野菜づくりは品種選びのおもしろさにある。野菜は健康にいいのはもちろん、珍しい品種に挑戦してみるのも野菜づくりの楽しみの一つ」と話しました。また、土づくりの重要性についても触れ「堆肥を投入することが基本対策となり、その中で馬糞が最も適している。また、肥料については多く使用しても収量には影響しないので、土壌診断をしていい土づくりをしてもらいたい」と呼び掛けました。

その他にも、雪と山間と気温を活用した、藤里町に向く野菜体系の紹介などもし、部員らは今年もいい野菜、おいしい野菜を作ろうと、真剣にメモを取りながら佐藤さんの話に耳を傾けていました。



講師の話に耳を傾ける部員



紫色の白菜など
珍しい野菜も紹介しました

意見交換会を開催

多くの能代支部員が参加しました



活発な意見交換が行われました



女性部能代支部（佐々木博子支部長）は3月12日、意見交換会を開き部員ら40人が参加しました。意見交換会には、佐藤組合長、工藤常勤監事、経済部長のほか能代厚生医療センターの日沼看護副部長や(株)ジェイエイ山本葬祭センターの保坂次長も参加しました。

この意見交換会は、日ごろ女性部員が感じていることや、JAやJAグループへの意見・要望を話し合い、情報を共有することで、より良い女性部活動そしてJA運営につなげることを目的としています。

交換会では「監査はどのように行われているのか」、「組合員アンケートの目的は？」などの質問が出されたほか、厚生医療センターには「専任の医者を置いてほしい」、葬祭センターには「葬式で飾る花を華やかにしてもらいたい」といった要望も出されました。

また、佐藤組合長は「JAは職員のものでも役員のものでもないで、女性部のみなさんにもJA運営に参加・参画してもらいたい。皆さんと共に歩いていくJAあきた白神でありたい」と女性部へエールを送りました。